

群書類従を紹介します。

「作庭記」
『群書類従』は、「ご存じのとおり江戸時代後期に塙保己一が編集、刊行した古文獻の叢書(そうしょ)であります。叢書とは「種々の書物を集めて大きくまとめたもの」で、したがって保己一の文章は一行も収められていません。千二百七十六種の書物が収められ、全部で六百六十五冊(外に目録一冊)になり、文政二年(一八一九)に版木ができて完成しました。この刊行によって本の散佚(さんいつ)が防がれ、秘書とされた一部の人たちにしか見られなかった書物までも私たちに見られるようになったことは、塙保己一の大きな功績であります。ところでこの『群書類従』は現在の私たちの生活とどう関わっているのでしょうか。先日ある造園業者の方から電話をいただきました。「群書類従に造園関係の史料があるそうですが、どんなものですか」という問い合わせでした。「作庭記があります」と答えると、「作庭記ですか。それなら私

検校塙保己一先生自治会勉強会を開催しています。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では、本庄市自治会連合会の協力のもとに各自治会単位で塙保己一先生の出前講座を開催しています。勉強会の目的は、郷土の偉人塙保己一先生の遺徳、精神並びに業績の理解と認識を市民の皆様に深めていただくことで、本庄市の文化、教育、観光などの充実と向上を図り、もって郷土の活性化に寄与するものです。

顕彰会では事業部会委員の中から講師グループを組織し、会議を何度も重ねてスライドの講座資料を作成しました。出前講座には講師グループが2人1組で4組の班を編成して交代で講師を務め、すでに6回実施しております。今後も地域の自治会で開催される時には是非ご参加ください。また、自治会に限らず事業所や各種団体などで開催する講座へも講師を派遣できますので、希望がありましたら事務局へご連絡下さい。講師料は無料です。



長浜町自治会 (児玉)



連雀町自治会 (児玉)

たちは今でも使っていますよ」とのことでした。これを聞いて『群書類従』が現在も生きているのだ。『群書類従』は過去の書物ではなかったことを実感しました。そこで、今回は『群書類従』の中から巻第三百六十二遊戯部五「作庭記」の一部分を紹介いたします。

【作庭記の説明】
作庭家の重森完途(重森三玲の子)の文を引用します。「平安中期の作庭方法論書。いわゆる庭園の秘伝書として世界最古のもの。全一卷。『前栽秘抄(せんざいひしょう)』『園池秘抄』ともよばれる。寝殿造庭園の地形の取扱いや、立石(たていし)意匠・技法などについて詳細に述べ、日本庭園の発達に及ぼした影響はきわめて大きい。」

【群書類従の原文(抜粋)】
一、石をたてん事、まづ大旨をこころふべき也。
一、形により、池のすがたにし、たがひて、よりくる所々に、

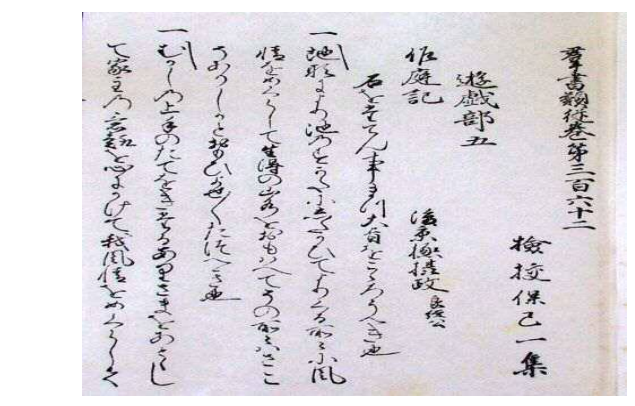
風情をめぐらして、生得の山水をおもはへて、その所々はさこそありしかと、おもひよせたつべきなり。
一、むかしの上手のたてをきたるありさまをあととして、家主の意趣を心にかけて、我風情をめぐらして、したつべき也。
一、国々の名所をおもひめぐらして、おもしろき所々を、わがものになして、おほすがた、そのところにならずらへて、やあらげたつべき也。(中略)

一、池もなく遣水もなき所に、石をたつる事あり。これを枯山水となづく。その枯山水の様ハ、片山のきし、或野筋などをつくりいでて、それにつきて石をたつるなり。又ひとへに山里などのやうに、おもしろくせんとおもハバ、たかき山を屋ちかくまうけて、その山のいただきよりすそさまへ、石をせうせうたてくたして、・・・とあります。



本庄市塙保己一記念館にある資料紹介
三月廿八日付け 塙保己一書簡
(年不詳であるが文化十三年と推定されている。)
花好きだった塙保己一
この書簡は塙保己一が京都から江戸へ向かう時、長女のおと勢に送った書簡です。内容は「つばき山吹は散り始め、長々の逗留で寿命は2、3年は縮まった。そちらに着く頃にはさつきが咲いてるでしょう。」との書簡です。

一筆申しんし候、先以御障なくめて度そんし候、さてハ金十郎江申くたし候訳合にて下り少しおそくなり可申候、つばき山吹ハいづれもちり可申と存候間、草花二而も御うへ置可被下候、長々のとうりうにて寿命も式三年ハちままり可申とそんし候間、かへり候而たのしみ申候故、さつきハさかりニ可有之候、明日大坂江くたり候間わたはんぶんもくたし可申候、衣類もわた入之分ハくたし可申と存候、いよ子供別段ニハ手紙くたし不申候間よろしく御たのみ申候、きく川町江御無沙汰申候、申わけ可然御申可被下候、以上
三月廿八日 自京都 おと勢の



群書類従 第三六二 遊戯部五 作庭記

・重森 完途 (しげもり かん と、1923年・1992年)は日本の作庭家。造園家。造園史家。庭園研究家で京都林泉協会会長等を歴任。重森三玲の子。1923年、東京生まれ。1943年に早稲田大学文学部国文科を卒業後兵役を経て1945年に重森三玲研究所で庭園の研究を開始するが、1955年には重森完途庭園設計研究所を設立し、設計活動を開始する。1966年、外務省文化使節としてオセアニアに派遣される。(郷土史家・長谷川典明氏 提供)

顕彰会の会員を募集しています

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、塙保己一先生の遺徳を顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。まだ継続手続きをされていない方は会費の納入をお早めにお願いたします。

また、会員の皆様も、お知り合いの方をご紹介していただきますようお願いいたします。



年会費

個人会員 一口 千円、 賛助会員（団体） 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所

本庄市生涯学習課（中央公民館）と本庄市児玉文化会館（セルディ）で受け付けています。

本庄市役所4階文化財保護課と児玉総合支所2階総務課では、平日にお預かりします。

※ 郵便振替でも申し込みできます。

◎会員証提示による協力店をご紹介します。皆様のご利用をお待ちしています。

事業所の名称	所在地	電話番号	割引等の特典内容
パーパーショップムサシ	本庄市児玉町児玉 1223-5	72-1181	ポイントを2倍進呈
日新ハウジング（株）	八幡山 171	72-3933	タオル又はティッシュ1箱進呈
（有）チハラ金物店	児玉 151	72-0014	ポイントカード2倍（特価品、建材品、電動工具以外）
（有）マロン	児玉 172-2	72-1258	ポイントを2倍進呈
靴のなかがわ	児玉 46	72-0249	1,000円以上お買い上げの方にティッシュ1箱+ポイントプレゼント
（有）梅月堂	児玉 78	72-1036	1,050円以上お買い上げの方、塙サブレ2枚プレゼント
島田園	児玉 1250	72-0158	ポイントカード3倍進呈
レストランひら久	児玉 14	72-1365	お一人様1,000円以上ご利用の方、コーヒーorフルーツアイスクリームサービス
（有）かしわ商会	児玉 138	72-1252	1,000円以上ご利用のお客様にボールペン1本進呈
いなか茶屋 きんしょう	田端 190-2	72-5520	つまっこ 10%引き

編集後記

新緑が映える季節を迎え、新たな年度が始まりますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。このほど点字ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字版をボランティアで作成して頂きました。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課
本庄市児玉文化会館（セルディ）内

所在地 367-0216
埼玉県本庄市児玉町金屋 728-2

電話 0495-72-8851

FAX 0495-72-8854



第5回塙保己一賞表彰式で副賞を受賞する田中文（あや）氏

ごあいさつ

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、会員皆様のご支援とご協力により設立から6年目を迎えることができました。皆様の熱いお志に心からお礼申し上げます。

さて、塙保己一先生の墓所の移転整備については、墓所移転整備委員会で協議した整備内容が役員会で承認され、塙先生百年祭記念碑の南側に隣接して移設することになりました。また、墓所の移転と併せて塙先生百年祭記念碑を本庄市で整備する予定です。さらに、移転先の広場も本庄市が公園として整備して、お子様が遊べる遊具も設置されます。これらの整備工事は9月12日の顕彰祭までに完了する予定です。

平成27年度の銅像建立計画を進める銅像建立準備委員会も、具体的な銅像の形状の検討や視察などを行っております。

昨年からは本庄市自治会連合会の協力により、自治会単位で勉強会が開催されており、顕彰会では事業部会から講師を派遣してスライドを使用して説明しています。地域の自治会で開催される時は、是非ご参加下さい。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

会長 吉田信解